

総合的な学習の時間

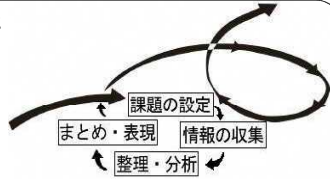
探究的な学習の質を高める学習過程の工夫

授業づくりのポイント

※③のア、イは授業例と対応

探究的な学習の過程

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現



探究的な学習の過程では、問題解決的な活動を発展的に繰り返します。この過程の中では、①～④がいつも順序よく繰り返されるわけではありません。児童生徒の探究の状況によって順番が前後する場合や、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もあります。

① 課題の設定

児童生徒が自ら課題意識をもち、その意識が連続発展するよう、学習対象との関わり方や出合わせ方等を工夫する。その際、人、社会、自然に直接関わる体験活動を重視する。また、児童生徒の発達や興味・関心を適切に把握すること、これまでの自分の考えとの「ずれ」や「隔たり」、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせることに配慮する。

② 情報の収集

課題解決に必要な情報を収集する際は、目的を明確にして情報の収集を行うこと、体験を通じた感覚的な情報の収集を大切にすること、収集した情報を適切な方法で蓄積することができるように配慮する。

③ 整理・分析

多様な情報を整理したり分析したりして、学習を思考する活動へと高めていくことができるように、次の点に配慮する。

ア 児童生徒自身が、情報を整理する段階で吟味することの必要性について考える場や情報を整理・分析する方法を決定する場を設定する。

イ 「*考えるための技法」を用いた思考を可視化する思考ツールを選択し、活用できるようにする。

④ まとめ・表現

相手意識や目的意識を明確にすること、情報を再構成し自分の考えや新たな課題を自覚すること、伝えるための具体的な方法を身に付け、目的に応じて選択して使うことができるように配慮する。

*考えるための技法：考える際に必要になる情報の処理方法を具体化し、技法として整理したもの『学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』小学校p82、中学校p79参照

多様な情報を整理・分析する方法を決定し、活動の見通しをもつ場面の授業例

小学校第4学年 単元名 地域のじまん「伝統行事」を伝えよう

【単元の目標】



地域の人々と協働して伝統行事のよさを伝える活動を行うことを通して、自分が住む地域で受け継がれてきた伝統行事のよさに気づき、地域の発展を願って自分にできることを考え、町づくりに積極的に関わることができるようにする。

【小単元1】 「伝統行事」のよさを探ろう



① 課題の設定

伝統行事について映像や保存会の人の話等から関心を高め、課題を設定し、学習計画を立てる。

② 情報の収集

地域の方々へのインタビューやゲストティーチャーによる講話、実際に行事を体験すること等を通して情報を収集する。

③ 整理・分析

これまでの活動で収集した情報を整理して、分析する。

④ まとめ・表現

整理・分析した情報を新聞にまとめる。

【小単元2】 「伝統行事」のよさを伝えよう

【小単元3】 地域への関わり方を考えよう

③ 整理・分析【整理・分析の必要性を考える場面】

- T：これまで、伝統行事についてたくさんのことを調べてきました。どのようなことが分かりましたか。
- S1：毎年伝統行事を計画的に準備し、地域の方々が協力して行っていることが分かりました。
- S2：インタビューをして、地域の方々にとって伝統行事はとても大切なものだということが分かりました。
- S3：伝統行事のよさがたくさん分かりました。
- T：どんなよさがあったか詳しく紹介してください。
- S3：地域が元気になって、住民の絆も深まります。
- S4：伝統行事を地域の方が誇りに思っていました。
- S5：伝統行事のよさがいろいろあって、うまく伝えられません。一度集めた情報を整理したいです。
- T：情報が多く、お互いに調べたことも違います。どのように情報を整理していきたいですか。
- S6：まず自分の目的に合った整理の方法を考えたいです。

これまでに収集した情報を出し合うなどして、情報を吟味し、整理・分析する必要性を感じるようになります。

ア

調べた情報を整理・分析する必要性を感じてその方法を自分で決定し、見通しをもつことで、主体的な活動につながります。

ア



③ 整理・分析【自分で方法を選択し決定する場面】

- T：どのように情報を整理・分析するか考えます。これまで学んだ中に、どのような方法がありましたか。
- S1：社会では、表やグラフを使いました。
- T：他の教科の授業で使った方法を取り入れることは、とてもよいですね。他にありませんか。
- S2：学級活動で行ったランキング表もあります。
- S3：ICT端末には、付箋で整理するアプリケーションソフトがありました。
- T：自分の分析の視点に合わせて方法を決めましょう。
- S1：私は、伝統行事の魅力を比較して順位を付けたいのでランキング表で整理します。
- S2：私は、関連のゆるいよさを結び付けて分類したいので、ICT端末の付箋を使って整理します。
- T：比較したり、関連付けたりすることは、情報を整理したり分析したりするときにとっても大切ですね。

ICT端末を活用することは、情報の収集や画像等の蓄積だけでなく、効率よく情報を整理する際にも有効です。

イ

児童が「考えるための技法」を意識的に活用できるようにするために、児童の状況を捉えて適切に価値付けることが大切です。

イ